

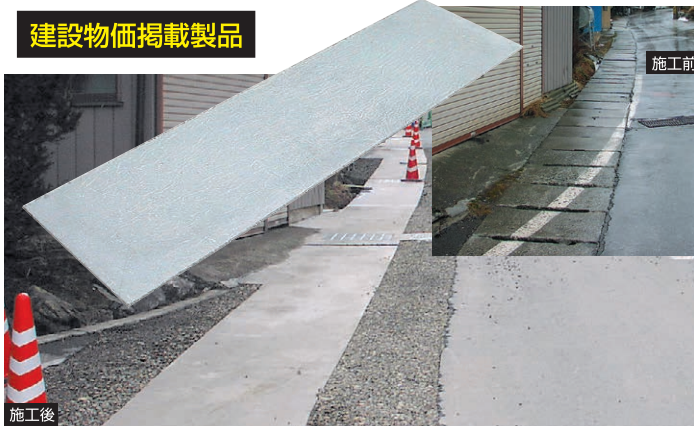
側溝リニューアルシリーズ

NETIS掲載期間終了技術:QS-980217-VE

GRC製側溝用埋設型枠 **建設技術審査証明取得製品**

KCフォーム

建設物価掲載製品



埋設集水型枠

スリットフォーム



NETIS掲載期間終了技術:QS-980217-VE

GRC製大型側溝用埋設型枠

JSフォーム

建設物価掲載製品



即日開放蓋

NETIS登録:QS-150012-A

ゲーリッド



FRC製プレストレスト長尺埋設型枠

LSフォーム



排水性舗装対応FRC製埋設蓋

NETIS掲載期間終了技術:QS-070021-VE

レインスルー



側溝リニューアルシリーズ

側溝の暗渠化のメリット

騒音解消

車両走行時の側溝蓋版のガタツキによる騒音を解消します。

経済性・環境対策

側溝そのものの入れ替えではありませんので経済的で産業廃棄物の発生も最小限です。

バリアフリー

都市部の幅の狭い歩道に設置されている側溝は蓋の振動による騒音公害の原因であると同時に、歩行の際や自転車走行時の大きな障害となっています。側溝の暗渠化により歩道の有効活用と安全性の向上が可能です。



側溝暗渠化工事における施工性の向上、建設廃材発生防止に

KCフォーム・JSフォーム・LSフォーム

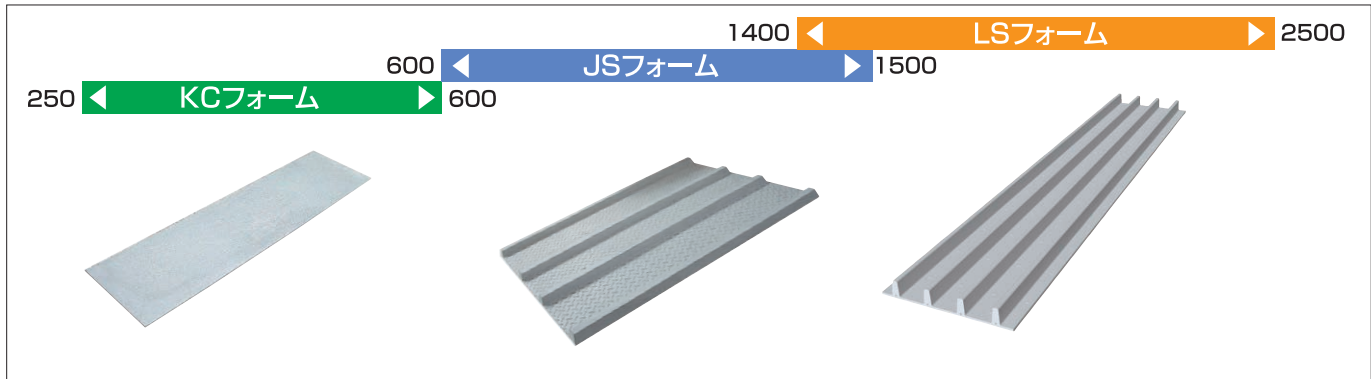
建設廃材の削減・工期短縮・施工性アップ・コスト縮減

KCフォーム・JSフォーム・LSフォームの特長

- 支持材・型枠等の建設廃材が発生しません。
- 型枠を組む時間がかからず、簡単に施工できます。
- 通水中でも施工が可能のため工期が短縮できます。
- 高い曲げ強度と剛性があるために、製品が軽く敷設が容易です。
- ダイヤモンドカッターによる現場加工が簡単です。
- 施工に熟練を要しません。
- ゼロアスベスト製品ですので、工事中も安心です。
- コンクリートとの付着がよく、鉄筋かぶりの一部として機能し側溝と一体化されます。

KCフォーム・JSフォーム・LSフォームはFRC（繊維補強セメント）の特長である、高い曲げ強度と剛性を活かした、側溝蓋を現場で打設する際の埋設型枠です。側溝の暗渠化の際、従来の型枠工事の手間が省け、施工が容易でトータルコストの大幅な低減が可能です。

側溝・水路幅による製品の使い分け



KC及びJSフォームによる暗渠化工事で使用する集水部材です。

スリットフォーム

スリットフォームの特長

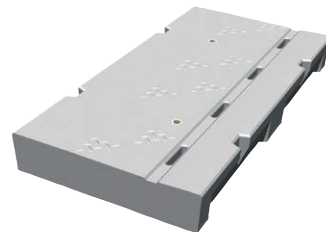
- 雨水の集まりやすい表面V型へこみ形状と、スリット中央部の落口半球体空間が、より排水機能を高めています。
- スリット幅は細目(8mm)並目(15mm)太目(20mm)の3種類を用意してあります。
- スリット部は、棒状のものでメンテナンスがしやすい形状になっています。
- 現場打ちコンクリートと同じコンクリート素材なので、一体化でき、更に表面質感も周辺に馴染みます。
- 同類用途の鋼製品と比較しても、経済的で、長期耐久性もあります。



側溝の暗渠化工事の即日開放に…

ゲーリッド

- 無収縮モルタルによる蓋版固定構造で、騒音、ガタツキを解消します。
- 集水勾配と導水溝により効率よく集水します。
- 速硬(3h後)又は早強(1~3日後)無収縮モルタルにより、現場ニーズに応じた即時開放機能を有します。
- 幅・厚さ等の変型枠により現場打ち水路及び既存側溝へ自由度が高い設計が可能です。



暗渠化工事で側溝上に排水性舗装を施工する際に使用する埋設蓋です。

レインスルー

レインスルーの特長

- 既存側溝をそのまま使用することで、撤去、新規設置の必要がなく、工期(即日復旧)、工事費を大幅に削減できます。
- 全面をアスファルト舗装で施工するため、継ぎ目のない、安全、安心な歩行空間を創造できます。
- 表層アスファルトを浸透した水が、直接集水穴を通して側溝に流れ込むため、高い集水能力を持っています。
- レインスルー、及び繊維ネットが無機素材のため、腐食の心配がありません。

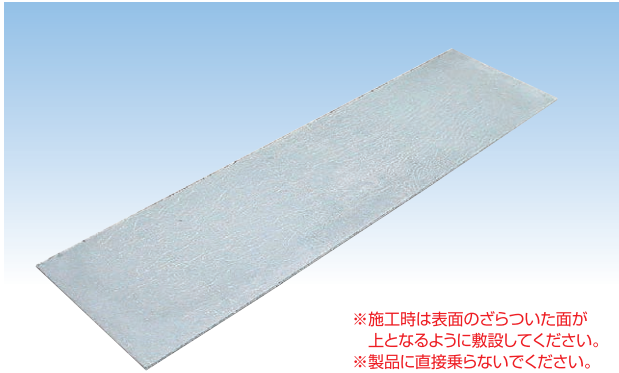


KCフォーム

NETIS掲載期間終了技術(QS-980217-VE)

農業農村整備民間技術情報データベース
(NNTD)登録No.1213

溝幅250mm～600mmの側溝に対応します。



※施工時は表面のざらついた面が上となるように敷設してください。
※製品に直接乗らないでください。

建設物価掲載製品

特長

1.施工性が良く、経済的

施工が容易(支持工事不要)で、しかも通水中でも工事ができるため、他の暗渠化工法と比較して工期が短縮できます。

2.高い曲げ強度と剛性

素材にGRCを使用しているため、高い曲げ強度と剛性を持っており、またダイヤモンドカッターによる現場加工も容易です。

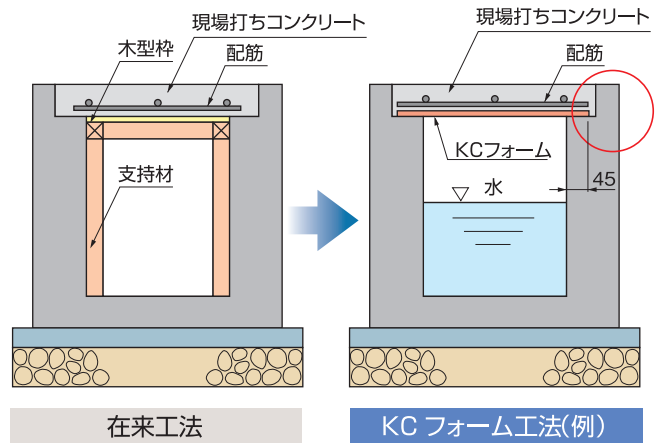
3.コンクリートとの付着がよい

コンクリートとの付着がよく、コンクリート蓋の鉄筋かぶりの一部として機能し、側溝と一体化されることにより、落蓋等で発生する振動音がありません。

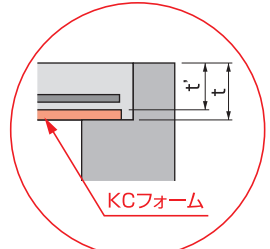
KCフォームは既設の道路側溝のコンクリート蓋を現場打ちコンクリートで施工する際、コンクリート蓋の埋設型枠として用いられるGRC(耐アルカリ性ガラス繊維補強コンクリート)製の薄板です。

KCフォームを置くだけで施工可能

※施工時の通水が可能です。

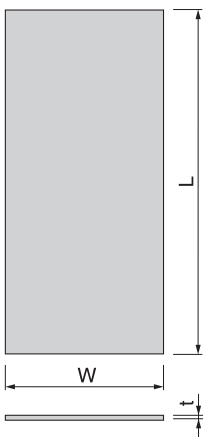


建設技術審査証明により、KCフォームでは「t」までをコンクリート厚と見なしますが審査証明のない製品では「t」までしかコンクリート厚と見なされません。



建設技術審査証明
(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
(一財)土木研究センター
建技審証第0329号

■形状・寸法



■寸法・重量表

呼称	W	t(※)	L	参考重量(kg)	参考歩掛(人/m)
250用	340	6	1000	4.4	0.0026
300用	390	6	1000	5.0	
350用	440	8	1000	7.6	0.0035
400用	490	8	1000	8.4	
450用	540	10	1000	11.6	0.007
500用	590	10	1000	12.6	
550用	640	13	1000	17.8	0.014
600用	690	13	1000	19.2	

※tは標準板厚です。

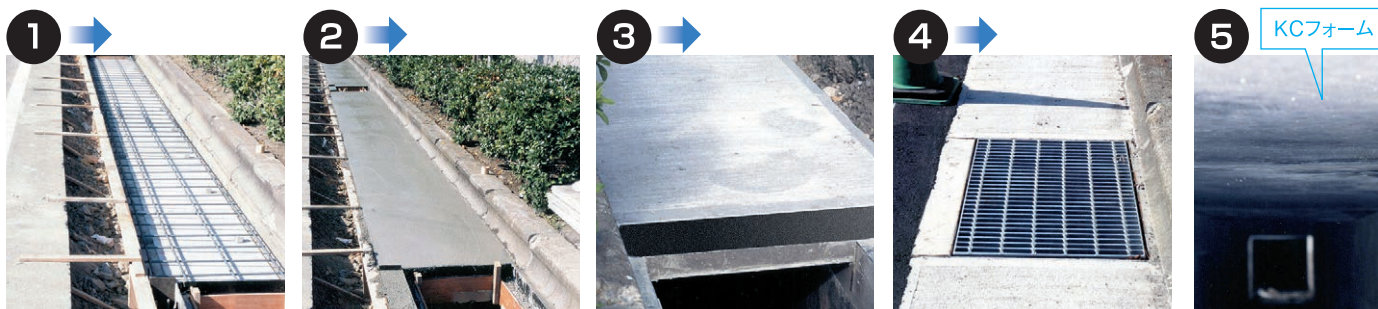
※Wは敷設時の両側掛りしろをそれぞれ45mmに設定しています。

■蓋厚・側溝幅によるKCフォームの適用厚さ一覧表 (mm)

側溝幅	250	300	350	400	450	500	550	600
蓋厚 100	6	6	8	8	10	10	13	13
110	6	6	8	8	10	10	13	13
120	6	6	8	8	10	10	13	13
130	6	6	8	8	10	10	13	13
140	6	8	8	10	10	13	13	13
150	6	8	8	10	10	13	13	13
160	6	8	8	10	10	13	13	JSフォームで対応
170	8	8	8	10	10	13	13	JSフォームで対応
180	8	8	8	10	13	13	13	JSフォームで対応
190	8	8	10	10	13	13	13	JSフォームで対応 JSフォームで対応
200	8	8	10	10	13	13	13	JSフォームで対応 JSフォームで対応

KCフォームの標準板厚

■ 施工工程



■ 側溝暗渠化の上に景観舗装を施した例



▲施工前

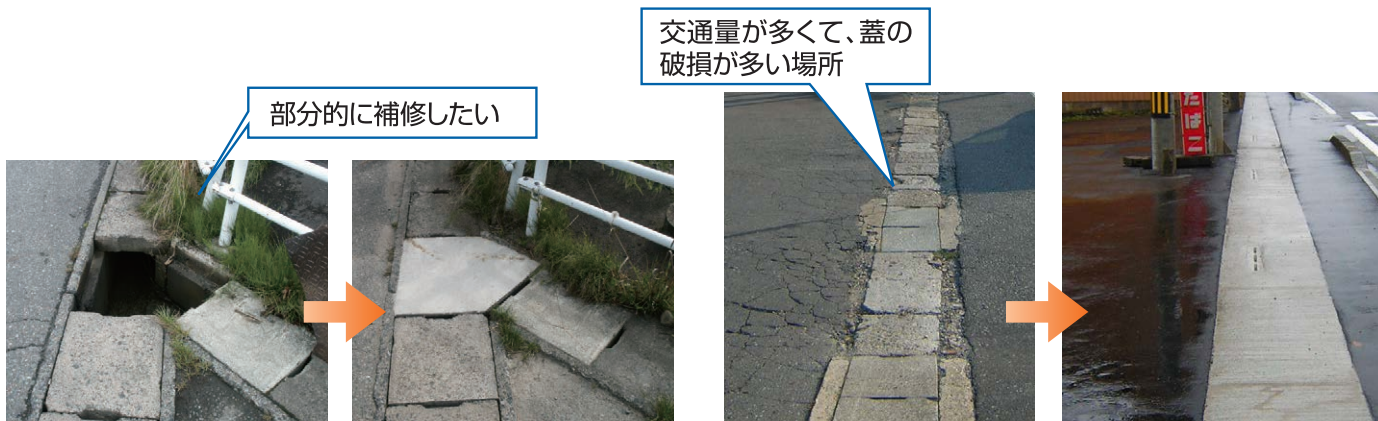
▲KCフォーム施工

▲暗渠化の後景観舗装

■ この様な現場でもKCフォームが有効です



住宅地で車両通過時の側溝打衝音がうるさい場所



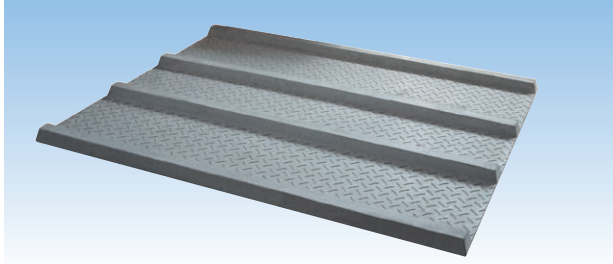
部分的に補修したい

交通量が多くて、蓋の破損が多い場所

JSフォーム

NETIS掲載期間終了技術(QS-980217-VE)
 農業農村整備民間技術情報データベース
 (NNTD)登録No.1214

KCフォームの特徴を生かしながら、鉄筋入りのリブ構造により、大型側溝への適用を可能にしたGRC製埋設型枠です。



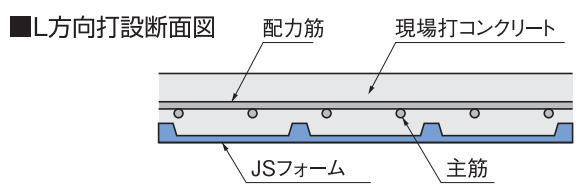
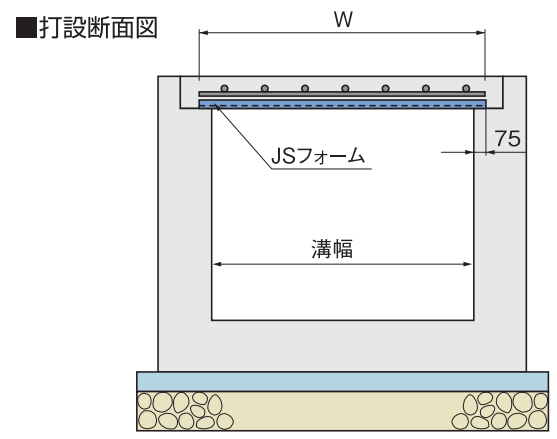
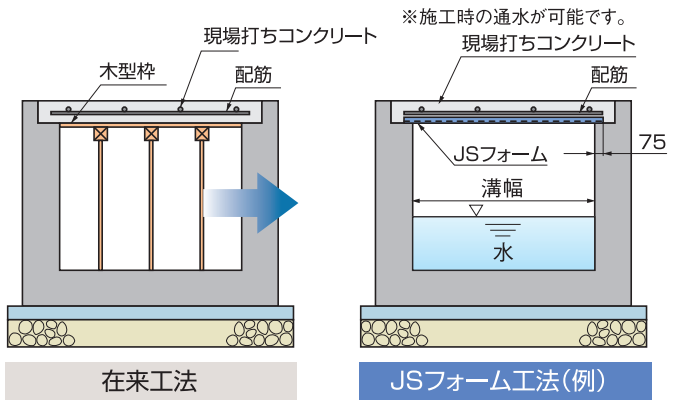
※施工時はリブのついた面が上となるように敷設してください。
 製品に直接乗らないでください。

建設物価掲載製品

特長

- 1.現場施工を合理化
 ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。
- 2.構造躯体の耐久性向上
 鉄筋防蝕効果。
- 3.コンパネ不使用による森林資源保護
- 4.腐食による捨型枠脱落問題の解消
- 5.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

JSフォームを置くだけで施工可能



◎リブ部を上向きにして施工します。

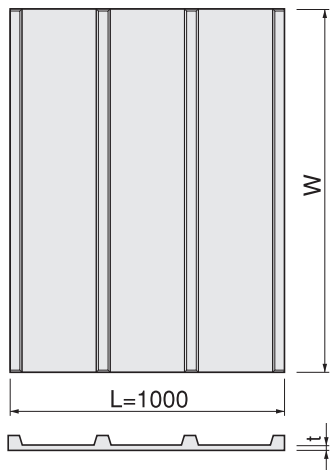
■施工手順



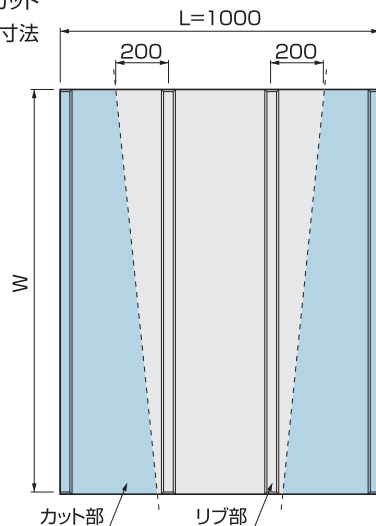
■ 基本寸法

■ 形状・寸法

水路方向
↔



※右図に示すようにJSフォームをカットする場合リブ部よりのとび出しの寸法は、200mmを最大とします。



■ リブ構造部分

製品タイプ	A型 (溝幅600～溝幅1000)	B型 (溝幅1000～溝幅1200)	C型 (溝幅1100～溝幅1500)
リブ断面形状	30 27 10 D10鉄筋	38 32 10 D13鉄筋	40 37 10 D13鉄筋

■ 寸法・重量表

製品タイプ	呼称	※W	参考重量(kg)	溝幅	参考歩掛(人/㎡)
A型	A600用	750	23.3	～ 600	0.014
	A700用	850	26.4	～ 700	
	A800用	950	29.5	～ 800	
	A900用	1050	32.6	～ 900	
	A1000用	1150	35.7	～1000	
B型	B1000用	1150	43.7	～1000	0.027
	B1100用	1250	47.5	～1100	
	B1200用	1350	51.3	～1200	
C型	C1100用	1250	51.3	～1100	0.027
	C1200用	1350	55.4	～1200	
	C1300用	1450	59.5	～1300	
	C1400用	1550	63.6	～1400	
	C1500用	1650	67.7	～1500	

●上表は、蓋厚180mm以下の場合を示したものです。
その他の場合については構造、現場打ちコンクリート許容最大厚さを算定いたします。
※Wは敷設時の両側の掛かりしろをそれぞれ75mmとした場合です。

■ 蓋厚・側溝幅によるJSフォームの適用タイプ一覧表

蓋厚	側溝幅	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500
110	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
120	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
130	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
140	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
150	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
160	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
170	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
180	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型	C型
190	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
200	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
210	A型	A型	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型	
220	A型	A型	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型		
230	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
240	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
250	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
260	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型			
270	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
280	A型	A型	A型	A型	B型	C型	C型				
290	A型	A型	A型	B型	B型	C型	C型				
300	A型	A型	A型	B型	C型	C型	C型				

この範囲は別途ご相談ください。

■ JSフォームアングル工法

特長

1. 大型水路対応

水路幅が1500～2500mmまでの大型水路の暗渠化が簡単に行えます。

2. 簡単施工

等辺山形鋼とJSフォーム、鉄筋を設置後にコンクリートを打設するだけで暗渠型側溝となります。

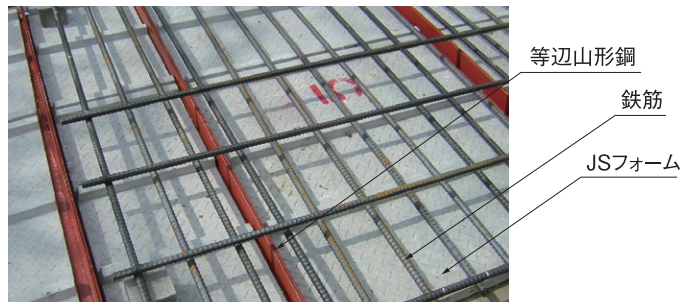
3. バリアフリー

バリアフリーの障害となる古い水路を暗渠化することで安全性が向上します。

4. ローコスト

既存の水路をそのまま利用するため、建設廃材の発生も最小限で側溝入れ替えよりも経済的です。

▼配筋途中写真



▼通水中でも施工可能



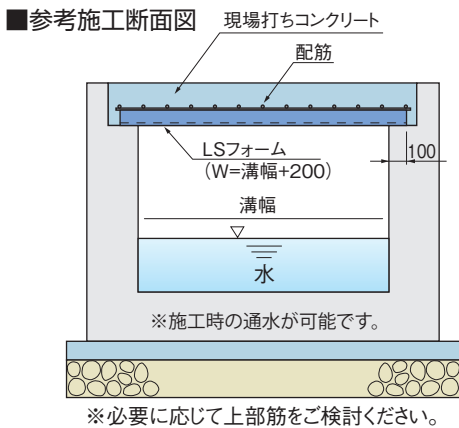
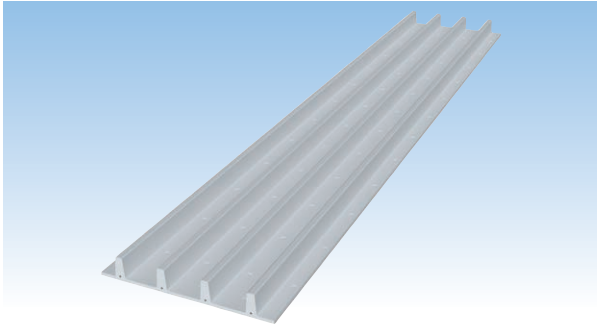
▼点検口設置状況



LSフォーム

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え、補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

農業農村整備民間技術情報データベース (NNTD) 登録No.1213



特長

1.現場施工を合理化

ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

2.作業効率の向上

- 製品重量:69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。
- 耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。
※1枚に二人以上は乗らないでください。

3.コンパネ不使用による森林資源保護

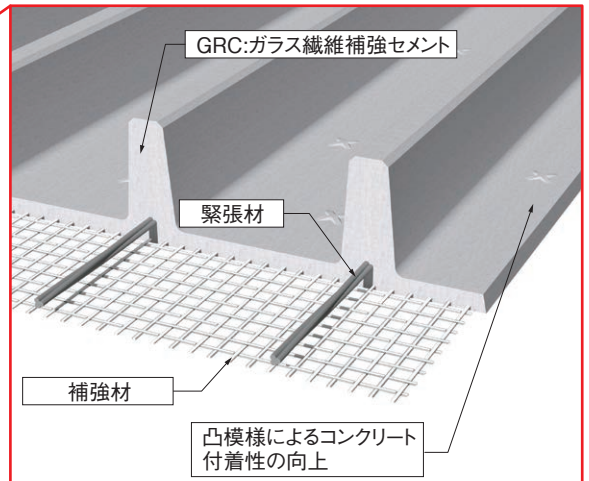
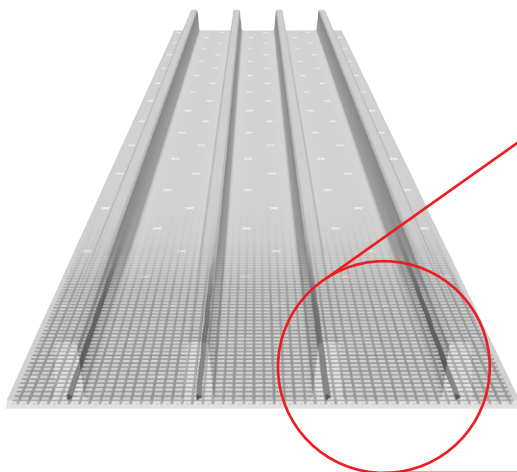
4.ダイヤモンドカッターによる現場加工が容易

用途

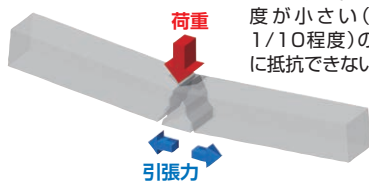
●長スパン用埋設型枠

溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

製品構造図

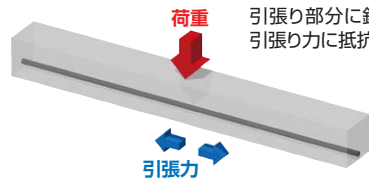


【無筋コンクリート】



コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。

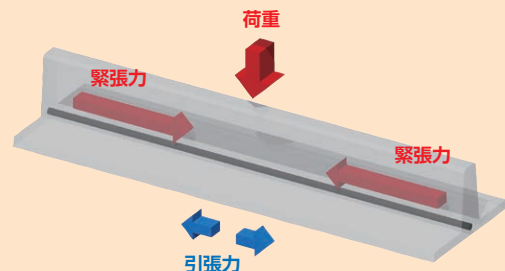
【鉄筋コンクリート】



引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

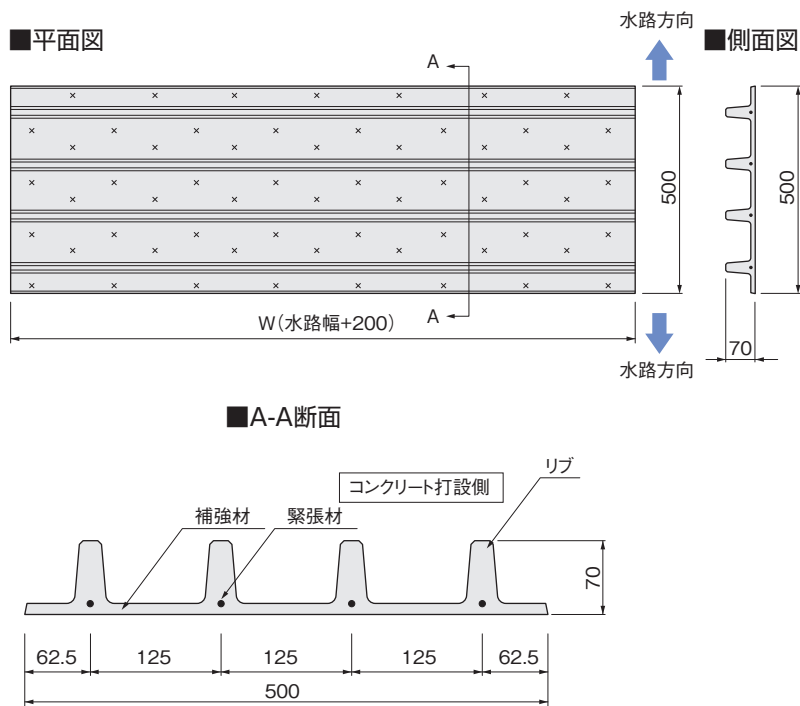
【プレストレストコンクリート】

鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで※更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)



※プレテンション方式によるプレストレス導入

■ 基本形状図

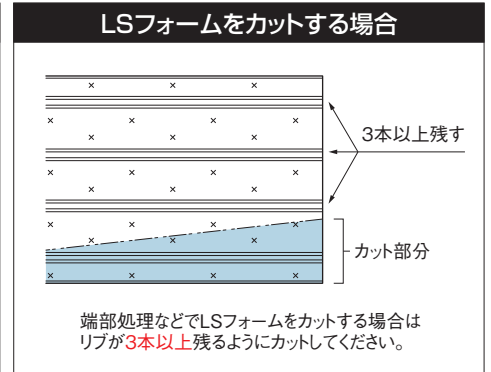
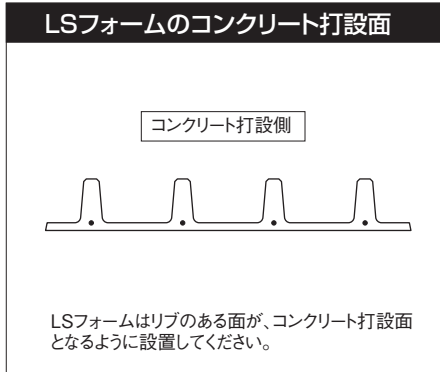
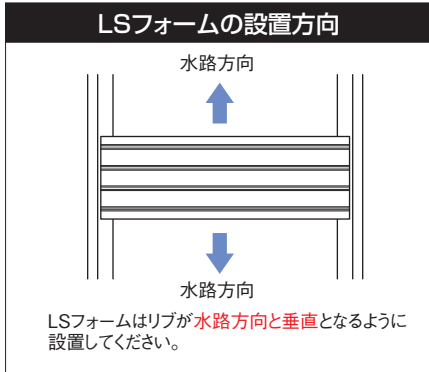


■ 寸法・重量表

呼称	W(mm) (水路幅+200)	参考重量 (kg)	参考歩掛 (人/枚)
1400用	1600	41	0.027
1500用	1700	43	0.027
1600用	1800	46	0.027
1700用	1900	49	0.027
1800用	2000	51	0.027
1900用	2100	54	0.027
2000用	2200	56	0.027
2100用	2300	59	0.027
2200用	2400	61	0.027
2300用	2500	64	0.027
2400用	2600	66	0.027
2500用	2700	69	0.027



■ 施工上の注意



■ 参考写真

▼ 配筋例



※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはキャンバー（緊張力による反り）がついています。



※必要に応じて上部筋をご確認ください。

スリットフォーム

特許登録第4299185号

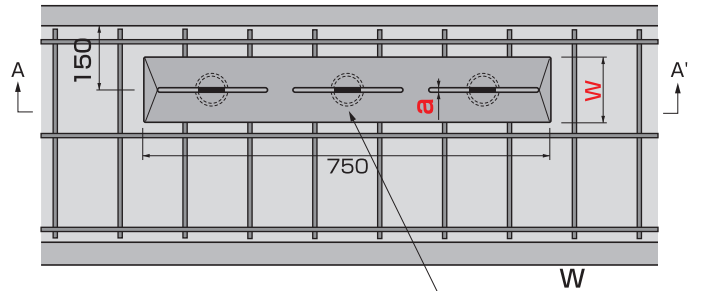
KCフォーム・JSフォームの排水対策に最適です。

特長

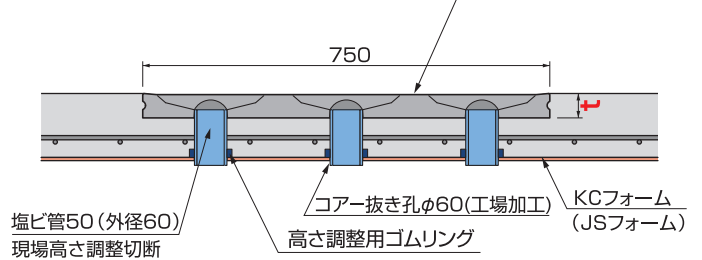
- 1.雨水の集まりやすい表面V型へこみ形状と、細長スリット中央部の落口半球体空間が、より排水機能を高めています。
- 2.スリット幅がせまく、歩行に支障がありません。
- 3.スリット部は棒状のものでメンテナンスがし易い形状になっています。
- 4.現場打ちコンクリートと同じコンクリート素材なので、一体化でき、更に表面質感も周辺に馴染みます。
- 5.同類用途の鋼製品と比較しても、経済的で、長期耐久性もあります。
- 6.設計主鉄筋ピッチ(125mm)を変化させないで、そのまま取付けが可能です。



■標準施工図



■A-A'断面図



スリット	スリット幅(a)	製品厚(t)	製品幅(W)	製品重量
細目タイプ	8 mm	43 mm	120 mm	7 kg
並目タイプ	15 mm	48 mm	120 mm	8 kg
太目タイプ	20 mm	48 mm	125 mm	8 kg

※横断部及び車両乗入れ部では
T-6以下の条件で使用してください。

■スリットフォーム施工手順(KCフォームでの施工例)



①配筋
工場であらかじめ、スリットフォーム用の孔をあけたKCフォームを設置した後、通常のKCフォームの施工と同じ要領で配筋します。



②塩ビ管取付
塩ビ管を現場の高さに合わせて切断し、ゴムリングを取り付けたものに接着剤を塗布し、スリットフォームにセットします。



③スリットフォーム取付
集水するスリット部にコンクリートが入らないようにマスキングテープを貼り、KCフォームの孔に塩ビ管を差し込むように取り付けます。



④コンクリート打設
スリットフォームの下にも、コンクリートが充填されるようにコンクリートを打設します。



⑤刷毛引き
刷毛引きをして仕上げ、養生します。

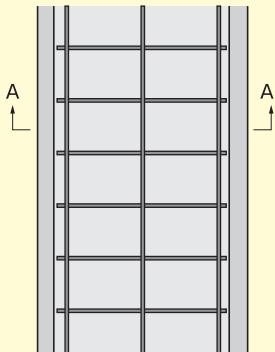
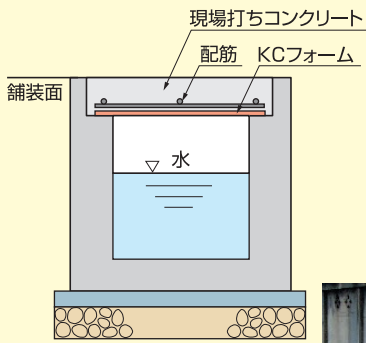


⑥完成

排水対策 現場に応じた路面排水の方法が可能です

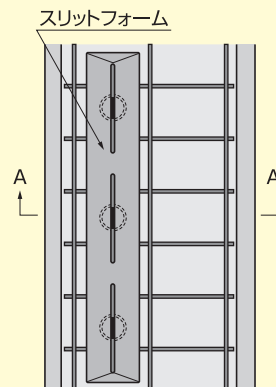
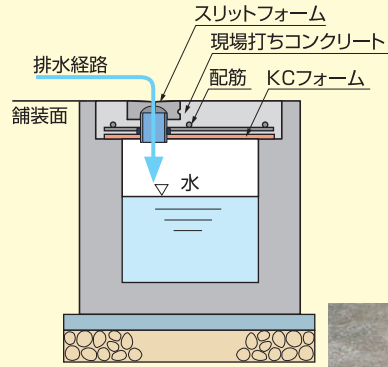
標準施工例

■A-A'断面図



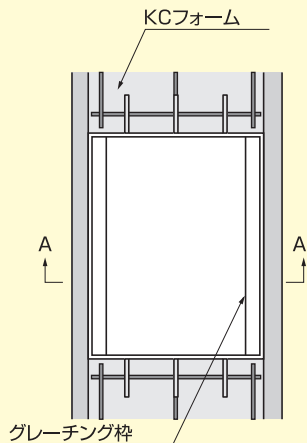
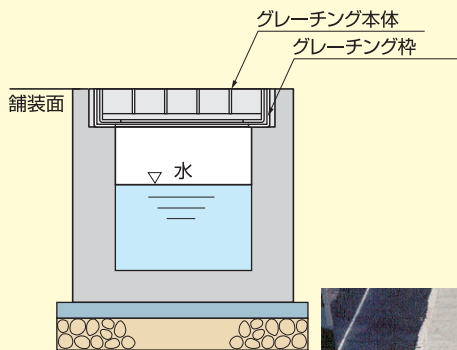
スリットフォームを設けた例

■A-A'断面図



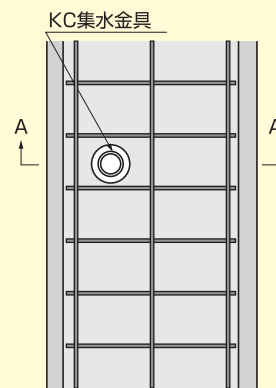
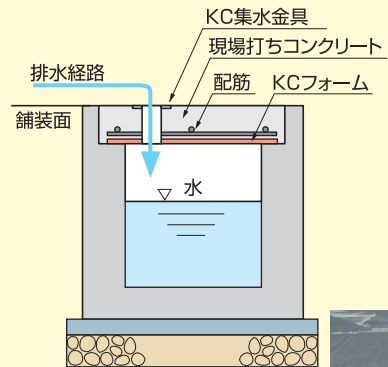
グレーチングを設けた例

■A-A'断面図



集水穴を設けた例 (KC集水金具使用)

■A-A'断面図



KC集水金具



即日開放蓋

ゲーリッド

NETIS登録番号(QS-0150012-A)
特許登録第5764378号

特長

1.騒音、ガタツキの解消

無収縮モルタルによる蓋版固定構造

2.集水機能

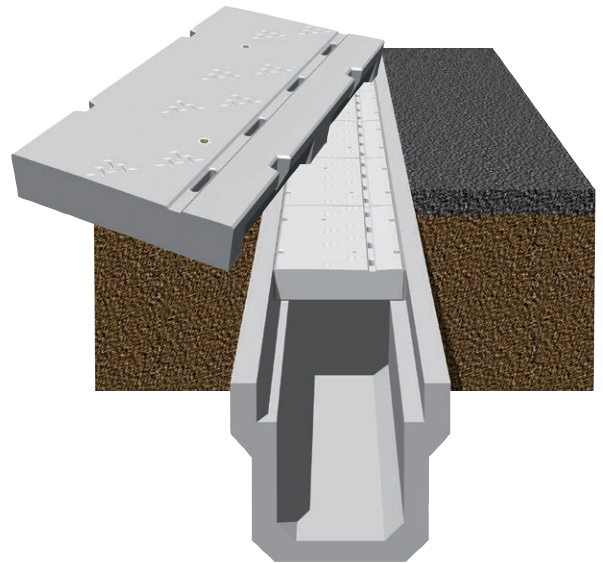
集水勾配と導水溝により効率よく集水

3.即日開放

速硬(3h後)又は早強(1~3日後)無収縮モルタルによる現場ニーズに応じた即時開放機能

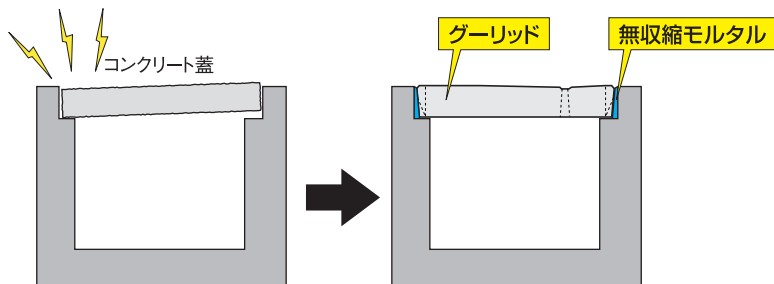
4.自由度

幅・厚さ等の可変型枠により現場打ち水路及び既存側溝へ自由度が高い設計が可能

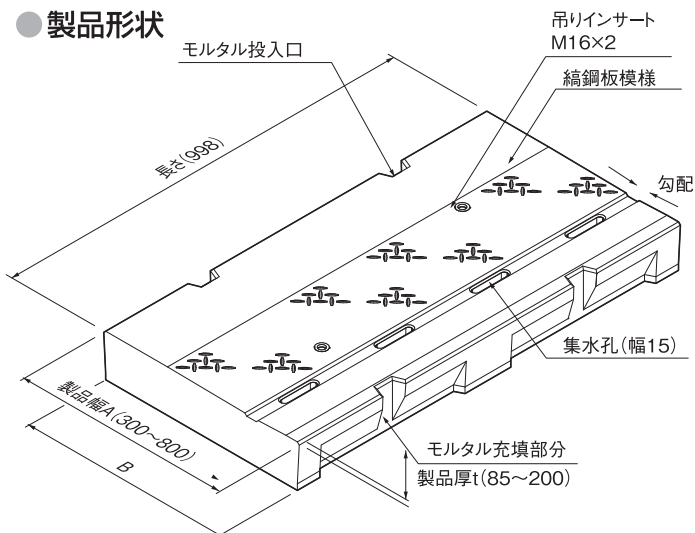


▼無収縮モルタル注入状況

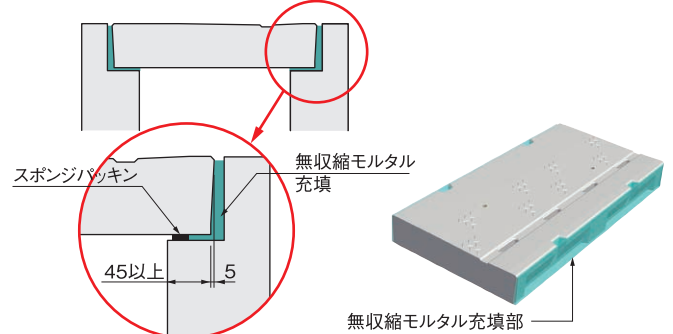
ゲーリッド本体と専用グレーチングは共に両サイドに無収縮モルタルを充填して固定します。



●製品形状



※ゲーリッドと側溝との「かかひる」は45mm以上確保してください。



■製品ラインナップ

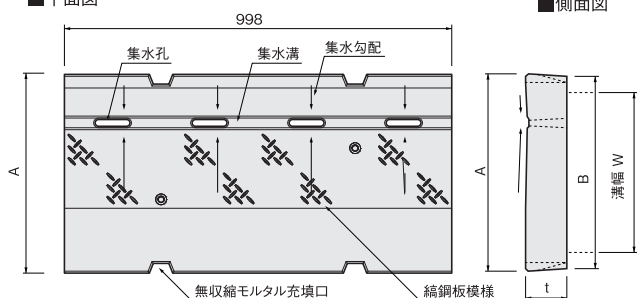
呼称		製品幅(A)	製品厚(t)
A型	250用	300~370	85~150
B型	300・400用	380~580	95~200
C型	500・600用	530~800	125~200

※製品幅(A)は300~800まで自由に対応できます。

■寸法・重量表(参考例)

呼称 W(溝幅)	寸法(mm)			参考重量 (kg/枚)
	A	B	t	
250	362	352	90	72
300	412	402	95	89
400	512	502	110	127
500	622	612	125	178

■平面図



施工前後比較



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前



施工後



施工前

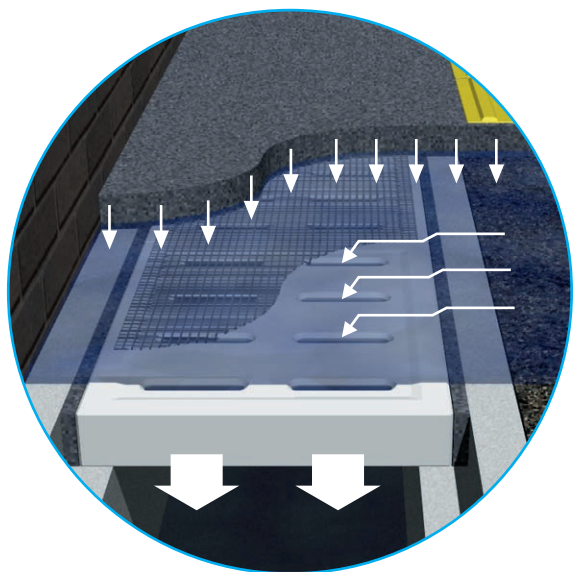


施工後



レインスルー

「NETIS掲載期間終了技術(QS-070021-VE)
特許登録第5010770号



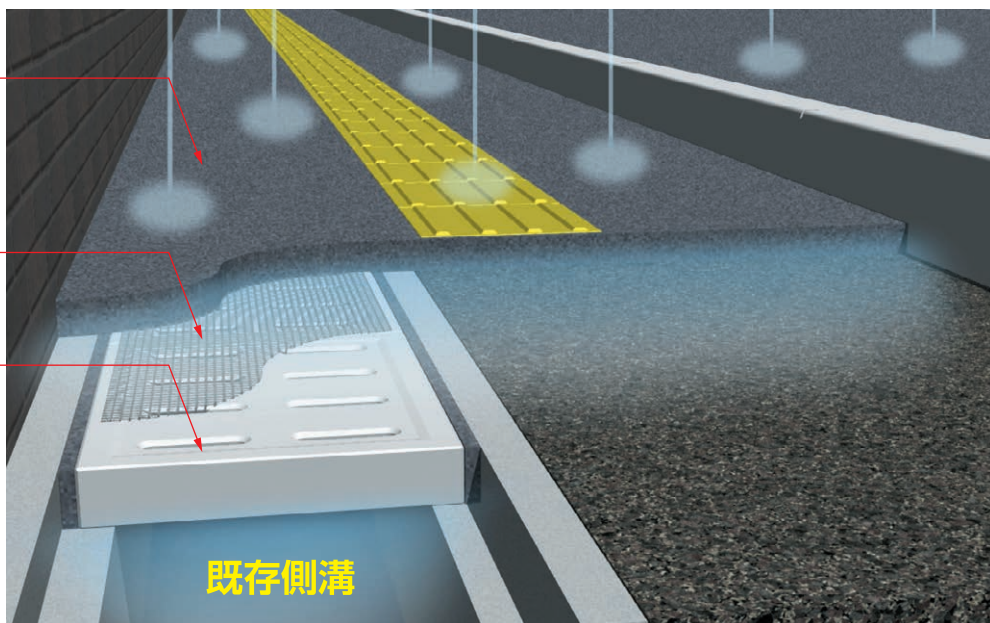
特長

1. 既存側溝をそのまま使用することで、撤去、新規設置の必要がなく、工期(即日復旧)、工事費を大幅に削減できます。
2. 全面をアスファルト舗装で施工するため、継ぎ目のない、安全、安心な歩行空間を創造できます。
3. 表層アスファルトを浸透した水が、直接集水穴を通して側溝に流れ込むため、高い集水能力を持っています。
5. レインスルー、及び繊維ネットが無機素材のため、腐食の心配がありません。
6. 誘導ブロックの周辺をアスファルト舗装とすることで、誘導ブロックとアスファルトとの輝度比2.0以上を確保することができます。

透水性アスファルト

繊維ネット工法
【特許第 3283598 号】

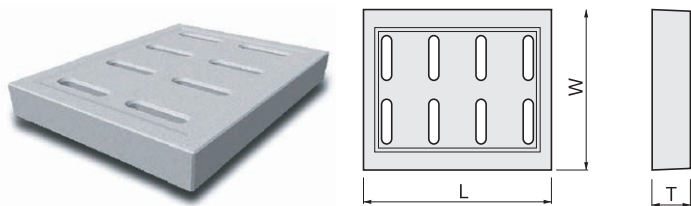
レインスルー



施工前 → 施工後



製品規格



繊維ネットについて

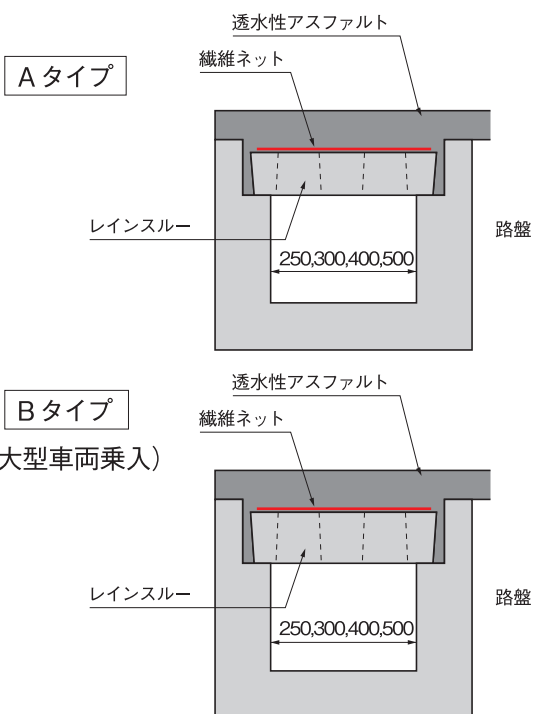


製品概要:耐アルカリ性ガラスネット
製造元 :日本電気硝子株式会社

※400,500用の集水穴は6穴、密粒度用は穴無しになります。

荷重条件	呼称 (水路幅)	製品寸法 (mm)			参考重量 (kg)
		幅(W)	長さ(L)	厚さ(T)	
Aタイプ (標準品)	250	330	500	55	18
	300	380	500	60	23
	400	480	500	70	34
	500	590	500	85	50
Bタイプ (大型車両乗入れ)	250	330	500	70	23
	300	380	500	80	30
	400	480	500	100	49
	500	590	500	120	71
密粒度用300	300A	380	500	60	26
	300B	380	500	80	34

施工構造



参考施工歩掛り

10m当り

項目	仕様	数量	単位
蓋版撤去		20	枚
コンクリート取り壊し	側壁部	—	m ³
殻運搬処理		—	m ³
レインスルー		20	枚
繊維ネット		10	m
世話役	レインスルー、ネット設置	0.02(0.06)	人
普通作業員	同上	0.26(0.48)	人
諸雑費	× 労務費	10	%
表層(排水性混合物)	機械 厚さ:40(mm)	5.20	m ²

※()数値は 400B、500A の場合

※諸雑費には繊維ネットの加工・設置手間が含まれています。

施工写真

▼施工前



▼施工中(レインスルー敷設)



▼施工中(繊維ネット敷設)



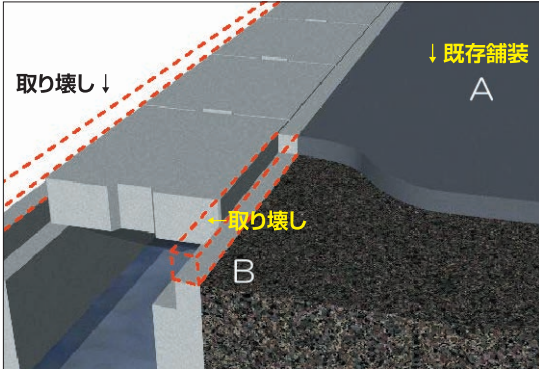
▼施工後



■レインスルー:施工手順

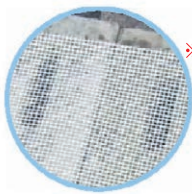
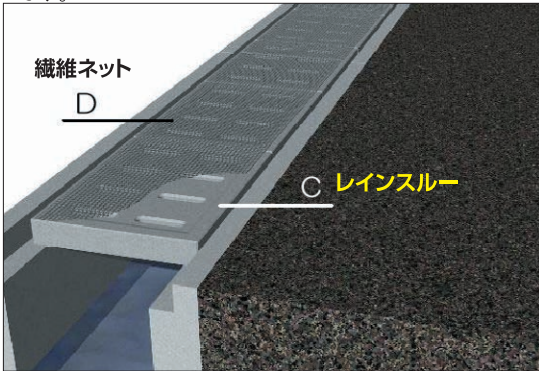
1. 取り壊し

既存の蓋を撤去し、既存舗装 (A) を切削する際に、舗装厚分 (40mm) 両側の壁 (B) を取り壊します。



2. 製品敷設

側溝にレインスルー (C) を敷設し、その上繊維ネット (D) をかぶせます。



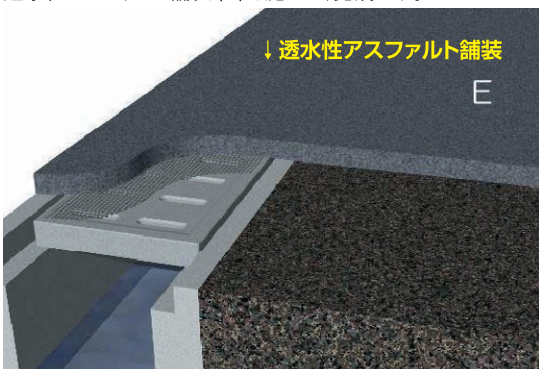
※繊維ネットを使用することで、
アスファルト舗装のクラック
抑制効果も期待できます。
<特許第 3283598 号>

▼専用グレーチングも用意しております。



3. アスファルト施工

透水性アスファルト舗装 (E) を施工し、完成です。



レインスルー工法は、**振動コンパクタによる人力施工**をお願い致します。



※側溝掛りとレインスルーの隙間にアスファルト合材、モルタル等を充填することで、ガタツキを抑えます。

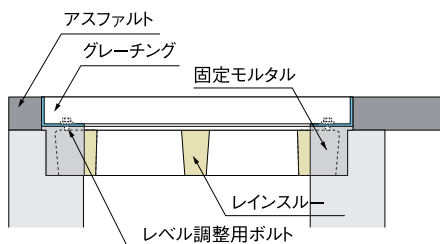


■レインスルー:専用グレーチングの御紹介

L=1000mm タイプ

(L=500mm タイプもございます)

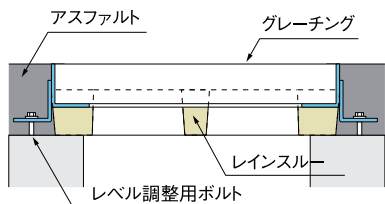
■施工断面図 (1)



※写真は施工断面図(1)の例です。
グレーチングは仮置のため裏返し状態。

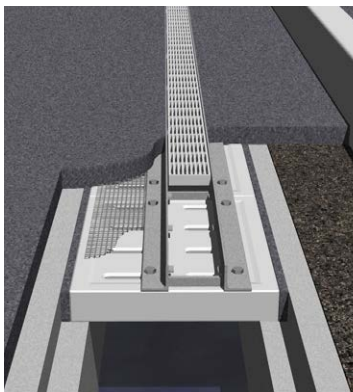
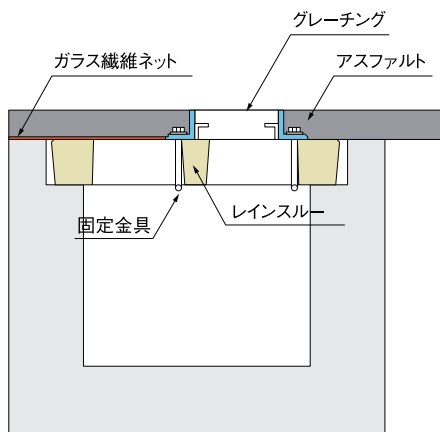


■施工断面図 (2)



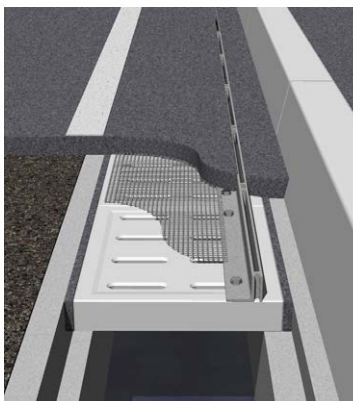
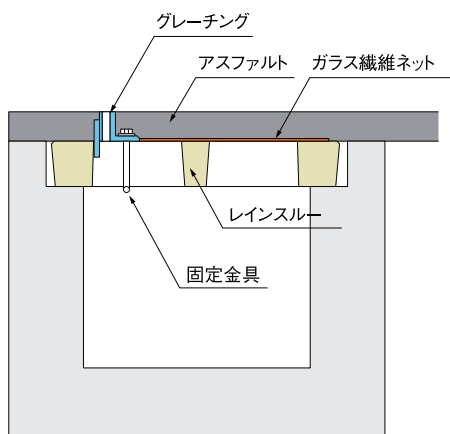
幅 100mm タイプ

■施工断面図



スリット幅 9mm タイプ

■施工断面図

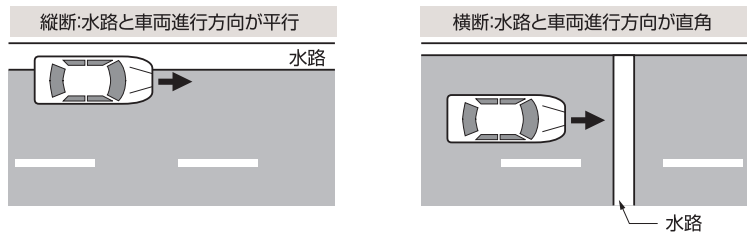
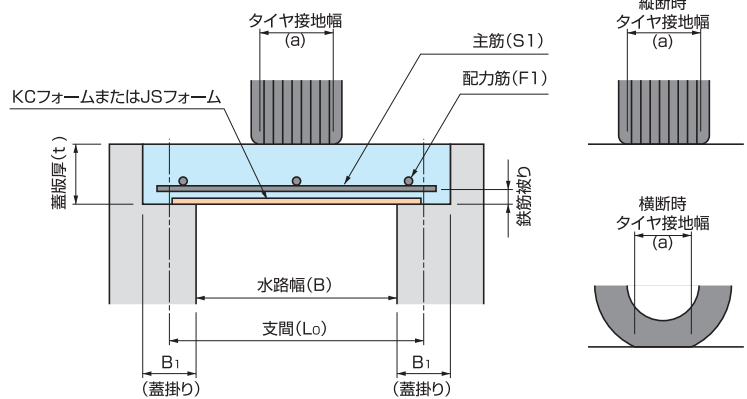


KCフォーム・JSフォーム使用時の鉄筋算出の検討

1.設計条件

活荷重(縦・横)	T=25・20・14・6
土被り	h=0.0m
土の単位体積重量	$\gamma_s=18\text{kN/m}^3$
鉄筋コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.5\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
コンクリートの許容曲げ圧縮強度	$\sigma_{ca}=8\text{N/mm}^2$
鉄筋の許容引張強度	$\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

2.設置条件



計算上使用する数値表

項目	縦断の場合				横断の場合				支間 Lo(mm)
	T-25	T-20	T-14	T-6	T-25	T-20	T-14	T-6	
水路幅(B)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	a(mm)	
200~ 600	500	500	500	240	200	200	200	200	B + 70
700~ 900	500	500	500	240	200	200	200	200	B + 80
1000~1500	500	500	500	240	200	200	200	200	B + 100

項目	縦・横断の場合				蓋掛り B1(mm)	鉄筋被り (mm)
	T-25	T-20	T-14	T-6		
水路幅(B)	Q(t)	Q(t)	Q(t)	Q(t)		
200~ 600	10.0	8.0	5.6	2.4	70	※KCフォームは配筋表を参照 JSフォームの場合は50mm
700~ 900	10.0	8.0	5.6	2.4	80	JSフォームがA・B型の場合は50mm 主筋(S1)径D19の場合は55mm
1000~1500	10.0	8.0	5.6	2.4	100	JSフォームがC型の場合は55mm C型で主筋(S1)径D19の場合は60mm

衝撃係数 $i = \frac{20}{(50+L_0)}$ 有効長さ $b = 100\text{cm}$ ※上記以外の条件の場合は別途構造計算を致します。

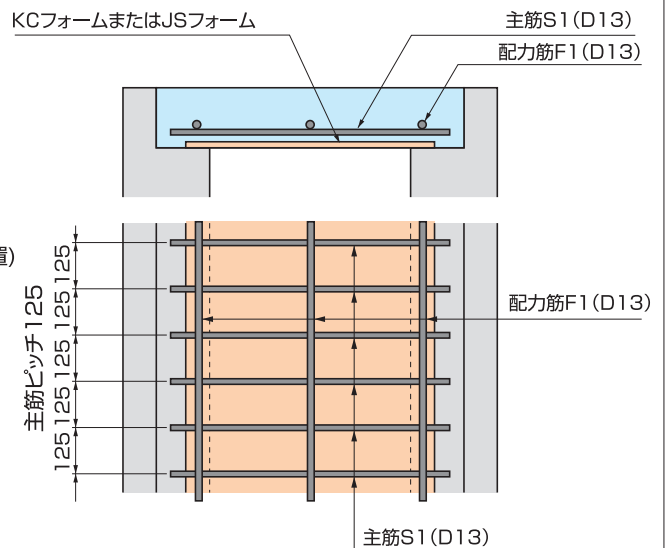
配筋表の表記例

$As=5.49$ S1 D13@125 F1 D13-3本

As:主筋の必要鉄筋量(cm^2)
※蓋長さ1m当り

S1:主筋(D13を125mmピッチで配置)

F1:配力筋(D13を3本配置)



JSフォーム側溝蓋版筋表(参考)

縦断

※1 表内の配筋検討時の蓋版厚

●A型		600	700	800	900	1000
側溝幅 荷重条件						
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.99 S1 D16@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=170 ※1 As=8.38 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=180 ※1 As=9.39 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=190 ※1 As=10.28 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=200 ※1 As=11.74 S1 D19@125 F1 D13-6本	
T-20 (縦断)	蓋版厚 t=140 ※1 As=7.22 S1 D16@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=150 ※1 As=8.23 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=170 ※1 As=8.25 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=180 ※1 As=8.96 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=190 ※1 As=9.85 S1 D16@125 F1 D13-6本	
T-14 (縦断)	蓋版厚 t=130 ※1 As=5.80 S1 D13@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=140 ※1 As=6.52 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.10 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=150 ※1 As=8.39 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=160 ※1 As=9.00 S1 D16@125 F1 D13-6本	
T-6 (縦断)	蓋版厚 t=110 ※1 As=4.63 S1 D13@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=120 ※1 As=4.75 S1 D13@200 F1 D13-5本	蓋版厚 t=120 ※1 As=5.57 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=130 ※1 As=5.57 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=130 ※1 As=6.44 S1 D16@125 F1 D13-6本	
蓋厚適応 一覧	側溝幅600用 A型 適用蓋厚 110~300	側溝幅700用 A型 適用蓋厚 120~300	側溝幅800用 A型 適用蓋厚 120~300	側溝幅900用 A型 適用蓋厚 120~280	側溝幅1000用 A型 適用蓋厚 120~210	

●B型		1000	1100	1200			
側溝幅 荷重条件							
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=220以上の 場合に対応 ※別途ご相談ください	側溝幅1000用 B型 適用蓋厚 220~290	蓋版厚 t=210 ※1 As=12.42 S1 D19@125 F1 D13-6本	※C型により対応			
T-20 (縦断)			蓋版厚 t=200 ※1 As=10.38 S1 D16@125 F1 D13-6本				
T-14 (縦断)			蓋版厚 t=170 ※1 As=9.31 S1 D16@125 F1 D13-6本		蓋版厚 t=180 ※1 As=9.58 S1 D16@125 F1 D13-7本		
T-6 (縦断)			蓋版厚 t=140 ※1 As=6.38 S1 D13@125 F1 D13-6本		蓋版厚 t=140 ※1 As=7.04 S1 D16@125 F1 D13-7本		
蓋厚適応 一覧		側溝幅1000用 B型 適用蓋厚 220~290	側溝幅1100用 B型 適用蓋厚 120~220	側溝幅1200用 B型 適用蓋厚 120~180			

●C型		1100	1200	1300	1400	1500	
側溝幅 荷重条件							
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=230以上の 場合に対応 ※別途ご相談ください	側溝幅1100用 C型 適用蓋厚 230~300	蓋版厚 t=230 ※1 As=12.22 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=240 ※1 As=13.13 S1 D19@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=250 ※1 ※要サポート As=13.62 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=260 ※1 ※要サポート As=14.09 S1 D19@125 F1 D13-8本	
T-20 (縦断)			蓋版厚 t=210 ※1 As=11.21 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=220 ※1 As=11.62 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=230 ※1 ※要サポート As=12.01 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=230 ※1 ※要サポート As=13.48 S1 D19@125 F1 D13-8本	
T-14 (縦断)			蓋版厚 t=190以上の 場合に対応 ※別途ご相談ください	蓋版厚 t=190 ※1 As=10.19 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=190 ※1 As=10.39 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=200 ※1 As=10.39 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=200 ※1 ※要サポート As=11.73 S1 D19@125 F1 D13-8本
T-6 (縦断)				蓋版厚 t=150 ※1 As=7.31 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.95 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.81 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=160 ※1 As=7.81 S1 D16@125 F1 D13-8本
蓋厚適応 一覧		側溝幅1100用 C型 適用蓋厚 230~300	側溝幅1200用 C型 適用蓋厚 190~300	側溝幅1300用 C型 適用蓋厚 120~260	側溝幅1400用 C型 適用蓋厚 120~210	側溝幅1500用 C型 適用蓋厚 120~180	

JSフォーム側溝蓋配筋表(参考)

横断

※1 表内の配筋検討時の蓋版厚

●A型		600	700	800	900	1000
側溝幅 荷重条件						
T-25 (横断)	蓋版厚 t=170 ※1 As=9.26 S1 D16@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=190 ※1 As=9.41 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=190 ※1 As=11.43 S1 D19@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=200 ※1 As=12.14 S1 D19@125 F1 D13-5本	B型により対応 ※	
T-20 (横断)	蓋版厚 t=160 ※1 As=8.18 S1 D16@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=170 ※1 As=8.95 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=180 ※1 As=9.60 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=190 ※1 As=10.16 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=200 ※1 As=10.91 S1 D16@125 F1 D13-6本	
T-14 (横断)	蓋版厚 t=140 ※1 As=7.17 S1 D16@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.68 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=160 ※1 As=8.10 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=170 ※1 As=8.46 S1 D16@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=180 ※1 As=8.98 S1 D16@125 F1 D13-6本	
T-6 (横断)	蓋版厚 t=110 ※1 As=4.81 S1 D13@125 F1 D13-4本	蓋版厚 t=120 ※1 As=4.91 S1 D13@200 F1 D13-5本	蓋版厚 t=120 ※1 As=5.71 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=130 ※1 As=5.71 S1 D13@125 F1 D13-5本	蓋版厚 t=130 ※1 As=6.58 S1 D16@125 F1 D13-6本	
蓋厚適応 一覧	側溝幅600用 A型 適用蓋厚 110~300	側溝幅700用 A型 適用蓋厚 120~300	側溝幅800用 A型 適用蓋厚 120~300	側溝幅900用 A型 適用蓋厚 120~280	側溝幅1000用 A型 適用蓋厚 120~210	

●B型		1000	1100	1200			
側溝幅 荷重条件							
T-25 (横断)	蓋版厚 t=220以上の 場合に対応 ※別途ご相談ください	側溝幅1000用 B型 適用蓋厚 220~290	蓋版厚 t=220 ※1 As=11.86 S1 D16@125 F1 D13-6本	※C型により対応			
T-20 (横断)			蓋版厚 t=210 ※1 As=11.35 S1 D16@125 F1 D13-6本		※C型により対応		
T-14 (横断)			蓋版厚 t=180 ※1 As=9.99 S1 D16@125 F1 D13-6本				
T-6 (横断)			蓋版厚 t=140 ※1 As=6.50 S1 D13@125 F1 D13-6本			蓋版厚 t=140 ※1 As=7.16 S1 D16@125 F1 D13-7本	
蓋厚適応 一覧		側溝幅1000用 B型 適用蓋厚 220~290	側溝幅1100用 B型 適用蓋厚 120~220	側溝幅1200用 B型 適用蓋厚 120~180			

●C型		1100	1200	1300	1400	1500	
側溝幅 荷重条件							
T-25 (横断)	蓋版厚 t=230以上の 場合に対応 ※別途ご相談ください	側溝幅1100用 C型 適用蓋厚 230~300	蓋版厚 t=230 ※1 As=13.17 S1 D19@125 F1 D13-6本	蓋版厚 t=240 ※1 As=13.68 S1 D19@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=250 ※1 As=14.14 S1 D19@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=260 ※1 ※要サポート As=14.56 S1 D19@125 F1 D13-8本	
T-20 (横断)			蓋版厚 t=220 ※1 As=12.48 S1 D19@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=230 ※1 As=12.44 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=240 ※1 ※要サポート As=13.12 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=240 ※1 ※要サポート As=14.18 S1 D19@125 F1 D13-8本	
T-14 (横断)			蓋版厚 t=190 ※1 As=10.98 S1 D19@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=190 ※1 As=10.75 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=200 ※1 As=10.75 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=210 ※1 As=10.90 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=210 ※1 ※要サポート As=12.17 S1 D19@125 F1 D13-8本
T-6 (横断)			蓋版厚 t=190以上の場合に対応 ※別途ご相談ください	蓋版厚 t=120 ※1 As=7.43 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=150 ※1 As=7.43 S1 D16@125 F1 D13-7本	蓋版厚 t=150 ※1 As=8.07 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=160 ※1 As=7.91 S1 D16@125 F1 D13-8本
蓋厚適応 一覧		側溝幅1100用 C型 適用蓋厚 230~300	側溝幅1200用 C型 適用蓋厚 190~300	側溝幅1300用 C型 適用蓋厚 120~260	側溝幅1400用 C型 適用蓋厚 120~210	側溝幅1500用 C型 適用蓋厚 120~180	

LSフォーム側溝蓋配筋表(参考)

縦断

側溝幅 荷重条件	1400	1500	1600	1700
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=250 As=13.66 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=260 As=14.12 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=270 As=15.10 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=280 As=15.48 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-20 (縦断)	蓋版厚 t=230 As=9.34 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=240 As=12.74 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=250 As=13.56 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=250 As=14.58 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-14 (縦断)		蓋版厚 t=210 As=10.97 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=220 As=11.56 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=230 As=11.70 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-6 (縦断)		蓋版厚 t=170 As=7.61 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=180 As=7.80 S1 D16@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=180 As=8.35 S1 D16@125 F1 D13-9本

側溝幅 荷重条件	1800	1900	2000	2100
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=290 As=15.83 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=290 As=16.88 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=290 As=18.34 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=300 As=18.58 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-20 (縦断)	蓋版厚 t=260 As=14.81 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=270 As=15.02 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=270 As=16.31 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=280 As=16.47 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-14 (縦断)	蓋版厚 t=230 As=12.51 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=240 As=12.61 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=240 As=13.68 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=250 As=13.73 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-6 (縦断)	蓋版厚 t=190 As=8.25 S1 D16@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=190 As=8.67 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=190 As=9.46 S1 D19@125 F1 D13-11本	蓋版厚 t=200 As=9.33 S1 D19@125 F1 D13-11本

側溝幅 荷重条件	2200	2300	2400	2500
T-25 (縦断)	蓋版厚 t=310 As=18.82 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=320 As=19.04 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=320 As=19.99 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=330 As=20.20 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-20 (縦断)	蓋版厚 t=280 As=17.38 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=290 As=17.51 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=290 As=18.38 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=300 As=18.49 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-14 (縦断)	蓋版厚 t=250 As=14.49 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=260 As=14.52 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=260 As=15.25 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=260 As=15.99 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-6 (縦断)	蓋版厚 t=200 As=9.83 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=200 As=10.34 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=210 As=10.20 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=210 As=10.70 S1 D19@125 F1 D13-13本

LSフォーム側溝蓋配筋表(参考)

横断

側溝幅 荷重条件	1400	1500	1600	1700
T-25 (横断)	蓋版厚 t=260 As=14.60 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=270 As=15.00 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=280 As=15.89 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=290 As=16.23 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-20 (横断)	蓋版厚 t=240 As=13.15 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=250 As=13.45 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=260 As=14.18 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=260 As=15.16 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-14 (横断)		蓋版厚 t=220 As=11.44 S1 D19@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=230 As=11.96 S1 D19@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=230 As=12.79 S1 D19@125 F1 D13-9本
T-6 (横断)		蓋版厚 t=170 As=7.71 S1 D16@125 F1 D13-8本	蓋版厚 t=180 As=7.89 S1 D16@125 F1 D13-9本	蓋版厚 t=180 As=8.44 S1 D16@125 F1 D13-9本

側溝幅 荷重条件	1800	1900	2000	2100
T-25 (横断)	蓋版厚 t=300 As=16.53 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=300 As=17.53 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=300 As=18.93 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=310 As=19.14 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-20 (横断)	蓋版厚 t=270 As=15.35 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=280 As=15.54 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=280 As=16.77 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=280 As=17.66 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-14 (横断)	蓋版厚 t=240 As=12.85 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=240 As=13.64 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=250 As=13.94 S1 D22@125 F1 D16-11本	蓋版厚 t=250 As=14.69 S1 D22@125 F1 D16-11本
T-6 (横断)	蓋版厚 t=190 As=8.33 S1 D16@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=190 As=8.85 S1 D19@125 F1 D13-10本	蓋版厚 t=190 As=9.54 S1 D19@125 F1 D13-11本	蓋版厚 t=200 As=9.40 S1 D19@125 F1 D13-11本

側溝幅 荷重条件	2200	2300	2400	2500
T-25 (横断)	蓋版厚 t=320 As=19.36 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=330 As=19.56 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=330 As=20.47 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=340 As=20.66 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-20 (横断)	蓋版厚 t=290 As=17.78 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=300 As=17.89 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=300 As=18.72 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=310 As=18.82 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-14 (横断)	蓋版厚 t=260 As=14.71 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=260 As=15.43 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=270 As=15.43 S1 D22@125 F1 D16-12本	蓋版厚 t=270 As=16.15 S1 D22@125 F1 D16-13本
T-6 (横断)	蓋版厚 t=200 As=9.91 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=200 As=10.42 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=210 As=10.27 S1 D19@125 F1 D13-12本	蓋版厚 t=210 As=10.77 S1 D19@125 F1 D13-13本

※ 配筋表は参考になります。必要に応じ上部筋をご検討ください。

■営業本部

■第一営業部

鹿児島営業所： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

南薩営業所： 鹿児島県南九州市知覧町瀬西牧口1160 〒897-0305
Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283

大島営業所： 鹿児島県奄美市住用町城547 〒894-1111
Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055

北薩営業所： 鹿児島県薩摩川内市中福良町2135-1 〒895-0042
Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962

始良営業所： 鹿児島県始良市平松1880 〒899-5652
Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205

大隅営業所： 鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032
Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006

沖縄営業所： 沖縄県那覇市宇栄原6-14-5
ヒロマンション101号 〒901-0153
Tel.098-943-5624 Fax.098-943-5629

■第二営業部

宮崎営業所： 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059

日南営業所： 宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033
Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580

都城営業所： 宮崎県都城高城町石山2980 〒885-1205
Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826

延岡営業所： 宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104
TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442

大分営業所： 大分市上戸次字長河原3700番地 〒879-7764
Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607

■第三営業部

福岡営業所： 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259

北九州営業所： 北九州市小倉南区下城野3丁目1-25 〒802-0804
オフィスノレア下城野I B棟4号
Tel.093(482)3581 Fax.093(482)3583

福岡南営業所： 福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001
Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281

対馬出張所： 長崎県対馬市上県町檜滝1062 〒817-1522
Tel.0920(88)5800 Fax.0920(88)5801

熊本営業所： 熊本市中央区八王寺町30-1
メインプレイス熊本南2-A 〒860-0831
Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

■関連会社

東京セメント工業(株)

本 社： 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(623)7788 Fax.042(625)1777

関東営業所： 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(624)5485 Fax.042(624)0496

福島営業所： 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前15番地 〒969-0247
Tel.0248(44)2611 Fax.0248(44)2614

栃木営業所： 栃木県那須塩原市鍋掛1091番43 2F 〒325-0013
Tel.0287(62)2340 Fax.0287(62)2342

仙台営業所： 宮城県大崎市松山千石字一本松51番地 〒987-1304
Tel.0229(55)3131 Fax.0229(55)3139

仙台事務所： 仙台市青葉区北目町1番18号
ピースビル北目町 8F 〒980-0023
Tel.022(796)5071 Fax.022(796)5072

技 術 部： 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(624)5485 Fax.042(624)6373

開発事業部： 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(623)7783 Fax.042(625)1777

山口インフラテック(株)

山口県防府市大字植松741 〒747-0836
Tel.0835(29)0021 Fax.0835(29)2940

(株)佐藤コンクリート工場

本 社： 福岡市東区多の津四丁目16番15号 〒813-0034
Tel.092(612)2311

北九州営業所： 北九州市小倉南区下城野3丁目1-25 〒802-0804
オフィスノレア下城野I B棟4号
Tel.093(482)3582 Fax.093(482)3583

飯塚工場： 福岡県飯塚市内住2795 〒820-0713
Tel.0948(72)4335 Fax.0948(72)4336

■東日本営業部

東京営業所： 東京都港区西新橋1-18-6
クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003
Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283

仙台営業所： 仙台市青葉区上杉3-9-4 マエタビル3F 〒980-0011
Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132

■西日本営業部

大阪営業所： 大阪市淀川区西中島6-1-1
新大阪プライムタワー5F 〒532-0011
Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255

和歌山営業所： 和歌山県岩出市高瀬若宮84-2
岩出NDビル101号室 〒649-6235
Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720

(田辺)： 和歌山県西牟婁郡上富町町市ノ瀬78-1 〒649-2107
Tel.0739(48)0331 Fax.0739(49)0213

(御坊)： 和歌山県日高郡日高町原谷270番地 〒649-1201
Tel.0738(63)2237 Fax.0738(63)2515

広島営業所： 広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F 〒731-5133
Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056

京都営業所： 京都市伏見区深草鞍ヶ谷12番地6 〒612-0822
Tel.075(646)2525 Fax.075(646)3877

兵庫営業所： 兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311
Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302

鳥取営業所： 鳥取市上段261-1 〒680-1421
Tel.0857(24)1840 Fax.0857(23)0018

出雲営業所： 島根県出雲市斐川町上庄原1654-3 〒699-0505
Tel.0853(72)0244 Fax.0853(72)02450

名古屋営業所： 名古屋市熱田区神宮3-7-1 へんてんビル5F 〒456-0031
Tel.052(684)7258 Fax.052(684)7259

三重営業所： 三重県伊勢市小俣町元町1603-1 〒519-0503
Tel.0596(22)1285 Fax.0596(22)1293

静岡営業所： 静岡県掛川市本郷416番地 〒436-0111
Tel.0537(26)2221 Fax.0537(26)0519

■設計技術部

鹿児島設計技術課： 鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

宮崎設計技術課： 宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059

福岡設計技術課： 福岡市博多区東比恵3丁目13-10
スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259

西日本設計技術課： 大阪市淀川区西中島6-1-1
新大阪プライムタワー5F 〒532-0011
Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255

東日本設計技術課： 東京都港区西新橋1-18-6
クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003
Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283

■総合技術研究所

鹿児島技術課： 鹿児島県始良市平松3141-1 〒899-5652
開発課： Tel.050(3085)9434 Fax.0995(55)1070

兵庫技術課： 兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311
Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302

担当部署

販売店